

互いに協力しようとする心情が育った児童

立場の違う人とも協力しようとする児童

手だて4

道徳3 価値4 - (4)「おにぎりの味」

立場の違う人の気持ちを考え、学級みんなで達成感を味わう資料を活用し、よりよい学級にしようとする心情を高める。

協力の喜びを知り、協力しようとする児童

手だて3

道徳2 価値4 - (4)「まつりのあとで」

子ども祭に来てくれた幼稚園児や父兄、お年寄りのインタビューや児童の活動の様子を振り返ることで、たくさんの人々との関わりから祭が作られたことを知り、互いに協力していこうとする意欲を高める。

作文・感謝状

地域との関わり「子どもまつり」

祭準備・団活動 看板、御輿作り

手だて2

学級活動「子どもまつりを成功させよう。」

自分たちのお祭りを成功させるために、自分たちができることについて話し合いをする。

お互いを理解し、協力のよさに気づいた児童

手だて1

道徳1 価値4 - (4)「寄せなべ」

一人一人のよさに注目させるエクササイズを取り入れ、友達のよさについて考えさせるとともに、「全体のもつすばらしさ」について考えさせることで、協力の心情に気付かせる。

学級での取り組み

教師の願い

学校全体を見渡す視野に立ち、異学級や異学年ともそれぞれの立場や思いを理解し協力ができるようになってもらいたい。そして中学年らしく協力し合いながら明るく楽しい学校生活を送らせたい。

心が温まる「寄せなべ」作り

早朝活動・団活動・縦割り清掃

思いやり・協力の日常化

児童の実態

だれとでも仲良くしようという気持ちの強い子どもが多く、学級全体としても非常に仲がよく、男女関係なく休み時間に遊んでいたりと男女の協力もできる。気持ちが分かり合っている人とは、「協力」という心情が見られるが、学級や学年の枠を超えた「協力」の意識はされていない。